



広報はりま | 発行/播磨町役場 〒675-0182 (個別番号) 兵庫県加古郡播磨町東本荘1丁目5番30号 TEL 079 (435) 0355 FAX 079 (435) 0609 編集/企画/カラー 印刷/明光印刷

# 播磨 ミステリーハント

播磨町の歴史や偉人の「?」と「!」について、秘められたトピックスなども交えながら紹介します。

文責 播磨町郷土資料館 宮柳靖  
☎079(435)5000

## Mystery.4

### 今年の七夕は8月13日!?

暦には、現在、わたしたちが使っている新暦と、明治5年まで使われていた旧暦があります。江戸時代の初めは、約2500年前に中国で作られた宣明暦せんみょうれきが使われていました。ところが、宣明暦は800年以上もの長きにわたって使われてきたため誤差が大きくなり、日本各地で独自の暦が作られるようになりました。江戸時代には10種類もの暦が使われ、幕府の頭を悩ませていました。元和3(1617)年6月10日、2代将軍徳川秀忠とくがわひでただが朝廷に呼ばれて京都を訪問した際、京都では翌11日だったので朝廷にこっぴどく怒られました。それで、幕府は天文暦学者として名を馳せていた渋川春海しぶかわはるみに、新しい暦を作るよう命じたのです。

春海は7才のころから天体観測を始め、北極星がわずかに動いていることをすでに見抜いていました。春海は、多くの暦の中から400年前に中国で作られた授時暦じゆじれきが正確であることを見つけ出し、これをもとに日食と月食を見事に言い当てました。しかし、暦の採用を決める日に月食が起こらず、晴海の暦は不採用となりました。春海は、月食が起こらなかった原因を調べ、中国では見られる月食も緯度の差で日本では見られなかったことを突き止めたのです。

こうして天和3(1683)年、8年の歳月を



▲貞享暦 享保14(1729)年版 国立科学博物館展示

かけて初の国産暦が誕生しました。朝廷が暦の採用を決定したのが貞享元年じようきやうであったことから、春海の暦は貞享暦と名付けられました。この暦には、独自の工夫がなされ、本格的な冬の到来は、中国では虎が交尾を始める「虎始交(とらはじめてつるむ)」ですが、春海はこれを熊が冬眠のために穴に隠れる「熊蟄穴(くまあなにこもる)」としました。また、立春から数えた八十八夜は霜による害を、二十日は台風による害を注意喚起したものです。

ところが、旧暦の風習をそのまま新暦に移行した行事があります。7月7日の七夕がそれで、この日は梅雨がまだ明けておらず、晴れても満月で星が見えないことが多いようです。旧暦の七夕は、新暦では7月30日～8月下旬(今年は8月13日)にあたり、この頃になると半月で、夜の11時には月が沈むので星がよく見えます。天の川をはさんで、こと座のベガが織姫の星、わし座のアルタイルが彦星の星です。夜空に思いをはせながら、旧暦から暮らしや季節の行事を見つめ直してみませんか。

播磨町のホームページ http://www.town.harima.lg.jp

EX-MAIL kikaku@town.harima.lg.jp



町の人口 6月1日現在 住民基本台帳人口+外国籍人口。( )は前年比。  
34,756人(-15人) 男...17,038人(-11人) 世帯数...14,245世帯(+5世帯)  
女...17,718人(-4人)